

羽衣ホタル祭りに向けて子どもたちは、7月の学校だよりでご紹介したとおり、大いに活躍してくれました。身の回りから立川市、日本、世界へと子どもたちの視野が広がり、学びや課題意識がつながることを願っています。

＜朝会で話した主な内容＞ テーマ：「六小からひろがる つながる～SDGs（持続可能な開発目標）」

5年生から3年生へホタルの命のバトンが受け継がれ、協力して、みんなが楽しめるホタル祭りができたのが、とても素敵なおことでした。ホタルの学習を通して、考え、工夫し、行動する力が付いたと思います。それは、立川市民科でいろいろな学習をしているどの学年の人たちにも言えることだと思います。生き物を大切にしたい、きれいな水の大切さを伝えたい、暮らしやすい町にしたい、そうした願いは、どんな学習につながっていくのでしょうか。

世界では、すべての人々がよりよい未来を生きることができるよう、17の開発目標（SDGs）を基に、いろいろな取組を進めています（SDGsの目標の紹介：省略）。少し難しい目標もありますね。大きくまとめると、世界のどんな場所に生まれても、餓えや戦争に苦しむことなく健康で安全な暮らしができ、学校に通い、自然環境や地球の資源を大切にしながら、住み続けられる町や地球をみんなで協力して作っていかうということです。これは、2030年、あと約10年の間に達成を目指している世界の目標です。食品ロス、ごみのポイ捨て、海のプラスチックごみ問題、リサイクル、水や電気の省エネ、絶滅の危機がある生き物など、身の回りにはいろいろな問題があります。そこから、どうしてだろう、なぜそうなるのだろう、わたしたちの町をこんな町にしたいな、と考えることは、立川市や日本、世界の問題を考えることにつながります。

10年後、20年後の未来を生き、世界を担っていくのはみなさんです。なぜだろう、このままでいいかな、と思うことを見つけてみましょう。今、どんな取り組みがあるのかも調べてみましょう。そして、私たちにできることは何か、問題を解決する力を育てましょう。それが、私たちの暮らしや未来をよくすることにつながります。一つ一つの学習をつなげて、考える力、行動する力を高めていってほしいと思います。

- 1 2030年までに達成するSDGs 17の目標について聞きました。17の目標の中には、平和で公正な社会にする、男女差別などをなくす、などがありました。私は2030年までにこんな社会にしていきたいな、自分たちのプロジェクトがその目標のためになっていると嬉しいな、と思いました。
- 2 日本人は、トイレや食料は当たり前で、トイレはきれいです。でも、これは当たり前ではなく、いろいろな人が協力してくれているから、このようにいい暮らしができているのだと分かりました。
- 3 SDGs 17を2030年までに達成する。世界は海にプラスチックごみを捨てるのがとてもいけないことだと思いました。今は、流れているプラスチックごみが南極にまで行っていることが分かって、びっくりしました。プラスチックを減らすべきだと思いました。
- 4 ホタル祭りなどの生き物を大切にする活動や海のプラスチックごみや、温暖化の環境問題を考えることは、2030年までに達成を目指すSDGsの目標を考えることにつながっていくことを、今日知ることができました。私も世界の問題を考える第一歩として、身の回りから気を付けていきたいです。
- 5 SDGsの17の目標を聞いたときに、私たちはとても裕福な暮らしをしていると感じました。なぜかという、私が当たり前だと思うことが目標に入っていたからです。なので、私は給食を残さないなど、少しでも役に立つようにしたいです。
- 6 海の環境や働く社会のことや、世界の子どもが苦しんでいることを考えると、私たちの未来はもっとよりよくなるべきだし、2030年までにいろんな国の人々が幸せになれるといいなと思います。
- 7 ホタル祭りは、5年生から3年生へ受け継がれていて、これまで努力してきたよかったと思う。食品ロスなどをなくすために、食べ物は全部食べる。
- 8 食べ物を食べられない人がいないようにする、というところが心に残った。募金したりすれば戦争で敗れて国中が食べられない人でいっぱいになったりすることがなくなるから、ユニセフ募金をいっぱいしたいと思った。
- 9 世界が2030年までに目指していることが分かりました。そのことをSDGsということも分かりました。ぼくは、SDGsの中でも自分にできることがちょっとでもあると思うので、頑張りたいです。
- 10 私は身近な問題があったので、自分にできることはないか考えました。そして私は、「食品ロス」なら自分たちでもできるのではないかと考え、これから好き、嫌いせずに食べようと思いました。
- 11 世界では食べ物に悩んでいる人々や戦争で苦しんでいる人々がいると思うと、給食を食べ残す時があるからそれを次から申し訳ないなと思うので、やめたいと思います。
- 12 自分たちは当たり前でトイレに行ったり、ご飯を食べたりしているけど、世界の人たちはそういうのが当たり前ではない、と思いました。なので私は、資源や食べ物を大切にしようと思いました。